

施策番号	2324		
施策名	新しい交通政策の確立		
概要	地域の住民や事業者、その他の関係機関が一体となって、自動車交通の抑制や平準化を図る。 また、必要に応じて実験的な取組を実施しながら、安全・快適で効率の良い、人や環境にやさしい交通体系の実現を目指す。		
担当局	都市計画局	共管局	なし
上位政策	232 多様な都市活動を支える交通基盤づくり		

施策の評価

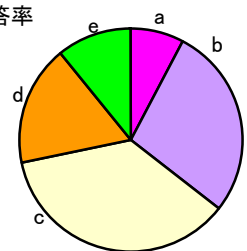
1 客観指標評価

	20年度	21年度	22年度評価				
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1 観光客公共交通利用割合 (%)	b	b	71.0%	70.0%	71.0	98.6%	b
2 京都観光の感想 (%)	b	b	22.0	20.0	19.0	94.7%	b
3 パーク&ライドの利用者満足度 (%)	a	a	96.1%	97.5%	97.6%	99.9%	a
4 -	-	-	-	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-	-	-	-
7 -	-	-	-	-	-	-	-
8 -	-	-	-	-	-	-	-
9 -	-	-	-	-	-	-	-
10 -	-	-	-	-	-	-	-
	a	a	客観指標総合評価				a

2 市民生活実感評価

設問	公共交通機関を利用する人が増えている。					
回答	20		21		22	
	回答者数	回答率	回答者数	回答率	回答者数	回答率
a: そう思う	66	9.6%	70	11.4%	47	7.8%
b: どちらかというと思う	161	23.3%	156	25.5%	169	27.9%
c: どちらとも言えない	267	38.7%	236	38.6%	219	36.1%
d: どちらかというと思わない	129	18.7%	93	15.2%	106	17.5%
e: そう思わない	67	9.7%	57	9.3%	65	10.7%
有効回答数	690		612		606	
市民生活実感評価	C		C		C	

22回答率



- a: そう思う
- b: どちらかというと思う
- c: どちらとも言えない
- d: どちらかというと思わない
- e: そう思わない

- * この評価は、毎年5月頃実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。
- * 施策1345とは取組事項が類似することから、同じ客観指標等を使用して評価（一括評価）しています。

3 総合評価（客観指標総合評価＋市民生活実感評価）

	20	21	22
客観指標総合評価	a	a	a
市民生活実感評価	c	c	c
総合評価	B	B	B
重み付け	(理由)		
<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標 <input type="checkbox"/> 市民の実感	市民の生活実感に施策の効果がすぐ反映されにくい性質があるため、客観指標総合評価を重視する。		

4 原因分析・今後の方向性 ※客観指標総合評価，市民生活実感評価，事務事業評価の結果等を踏まえて記入

【原因分析】

- ・客観指標総合評価においては，観光客の公共交通利用割合及び京都市の交通状況に対する不満の割合が微減し，パーク＆ライド利用者の満足度が微増した。
- ・市民生活実感調査のアンケートにおいては，公共交通機関を利用している人が増えているかという設問に対し，「そう思う」，「どちらかというと思う」と回答した割合が微減し，結果として総合評価には大きな変化がなかった。

【今後の方向性】

- ・新しい交通政策を確立するため，「歩くまち・京都」総合交通戦略に基づく施策を推進していく。

(参考) この施策を実現するための事務事業

	事業名	21年度予算 (千円)*	22年度予算 (千円)*	21年度事務事業評価に おける今後の方向性	担当局
1	観光地等交通対策	56,658	53,458	現状のまま継続	都市計画局
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	合計	56,658	53,458		
	うち、主たる事業の合計 (従たる事業の合計)	56,658 (0)	53,458 (0)		

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含む

施策名	2324	新しい交通政策の確立
-----	------	------------

指標名	観光客公共交通利用割合 (%)
-----	-----------------

担当課	歩くまち京都推進室	連絡先	222-3483
-----	-----------	-----	----------

1 指標の説明

本市への観光客が利用する交通手段に占める公共交通の割合

2 指標の意味

観光客の公共交通の利用状況を示す指標

3 算出方法・出典等

京都市観光調査年報

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	20年度	21年度		数値	根拠	達成度
数値	71.0%	70.0%	1.0ポイント減	71.0	過去5年間の最高値 (平成19年度)	98.6%

	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
数値	-	-	-	-	-

備考	-
----	---

5 評価基準

公共交通の利用割合が
a : 80%以上
b : 60%以上80%未満
c : 40%以上60%未満
d : 20%以上40%未満
e : 20%未満

6 基準説明

最高値を100%とし、以下20%刻みで設定した。
<参考>
16年度 : 69.7%
17年度 : 70.4%
18年度 : 70.7%
19年度 : 71.0%

7 評価結果

20	21	22
b	b	b

※ 施策1345とは取組事項が類似することから、同じ客観指標等を使用して評価 (一括評価) しています。

指標名	京都観光の感想 (%)
-----	-------------

担当課	歩くまち京都推進室	連絡先	222-3483
-----	-----------	-----	----------

1 指標の説明

観光客へのアンケートにおいて、交通に対する質問に対して「わるい」と回答した割合

2 指標の意味

本市の交通状況に対する観光客の不満の割合を示す指標

3 算出方法・出典等

京都市観光調査年報

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	20年度	21年度		数値	根拠	達成度
数値	22.0	20.0	2.0ポイント減	19.0	過去5年間の最高値 (平成17年度)	94.7%

	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
数値	-	-	-	-	-

備考	-
----	---

5 評価基準

観光客へのアンケートにおいて、交通に関する質問に対して「わるい」と回答した割合が
a : 20%未満
b : 20%以上40%未満
c : 40%以上60%未満
d : 60%以上80%未満
e : 80%以上

6 基準説明

「わるい」とする回答が20%未満の場合を最高の a とし、以下20%刻みで設定した。
<参考>
16年度 : 22%
17年度 : 19%
18年度 : 21%
19年度 : 22%

7 評価結果

20	21	22
b	b	b

施策名	2324	新しい交通政策の確立
-----	------	------------

指標名	パーク＆ライドの利用者満足度（％）
-----	-------------------

担当課	歩くまち京都推進室	連絡先	222-3483
-----	-----------	-----	----------

1 指標の説明

平成14年度から実施しているパーク＆ライドの利用者アンケート調査における「とても良かった」及び「まあまあ良かった」とする回答の割合

2 指標の意味

パーク＆ライドの利用者の満足度を示す指標

3 算出方法・出典等

事業担当課調査

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	20年度	21年度		数値	根拠	達成度
数値	96.1%	97.5%	1.4ポイント増	97.6%	過去最高値（平成19年度）	99.9%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値	-	-	-	-	-

備考	-
----	---

5 評価基準

パーク＆ライド利用者アンケート調査において「とても良かった」及び「まあまあ良かった」と回答した割合が
a：80%以上
b：60%以上80%未満
c：40%以上60%未満
d：20%以上40%未満
e：20%未満

6 基準説明

「とても良かった」及び「まあまあ良かった」と回答した割合が80%以上の場合を最高のaとし、以下20%刻みで設定した。
<参考>
15年度：96.7%
16年度：95.7%
17年度：96.0%
18年度：96.7%
19年度：97.6%

7 評価結果

20	21	22
a	a	a

※ 施策1345とは取組事項が類似することから、同じ客観指標等を使用して評価（一括評価）しています。